

山陰研究の 可能性と広がり

— 人文科学と社会科学の試み —

山陰研究センター
設立20周年記念
シンポジウム

島根大学法文学部山陰研究センターは、山陰地方の特性を踏まえた人文社会科学研究に基づき
地域の経済、社会および文化の発展に寄与することを目的に2004年から活動してきました。

今年度20周年を迎え、山陰地域研究の成果を報告するとともに

今後の研究発展と地域貢献に向けた可能性と広がりについて、

学内外の皆様と議論していく場を設けました。

多くの方々の参加をお待ちしております。

Program プログラム

13:30—15:00

講演

- 生態系の中で営まれる農畜産業の再構築
—アグロエコロジーの実践と経済的持続性—

関 耕平 (島根大学法文学部 教授)

- 考古学と戦争遺跡

岩本 崇 (島根大学法文学部 准教授)

- 災禍を語り継いだ人々
—近世山陰の実録とレジリエントな社会—

田中 則雄 (島根大学法文学部 教授)

休憩 (10分)

15:10—16:00

パネルディスカッション

2025

2/11 [火・祝]

13:30—16:00

参加無料

申込不要 / 事前申込み不要

会場

島根大学 松江キャンパス
教養2号館 3階 604教室

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060



お問い合わせ先

島根大学 法文学部 山陰研究センター

Tel 0852-32-9833 ☑ admin-src@soc.shimane-u.ac.jp

主催：島根大学 法文学部 山陰研究センター

